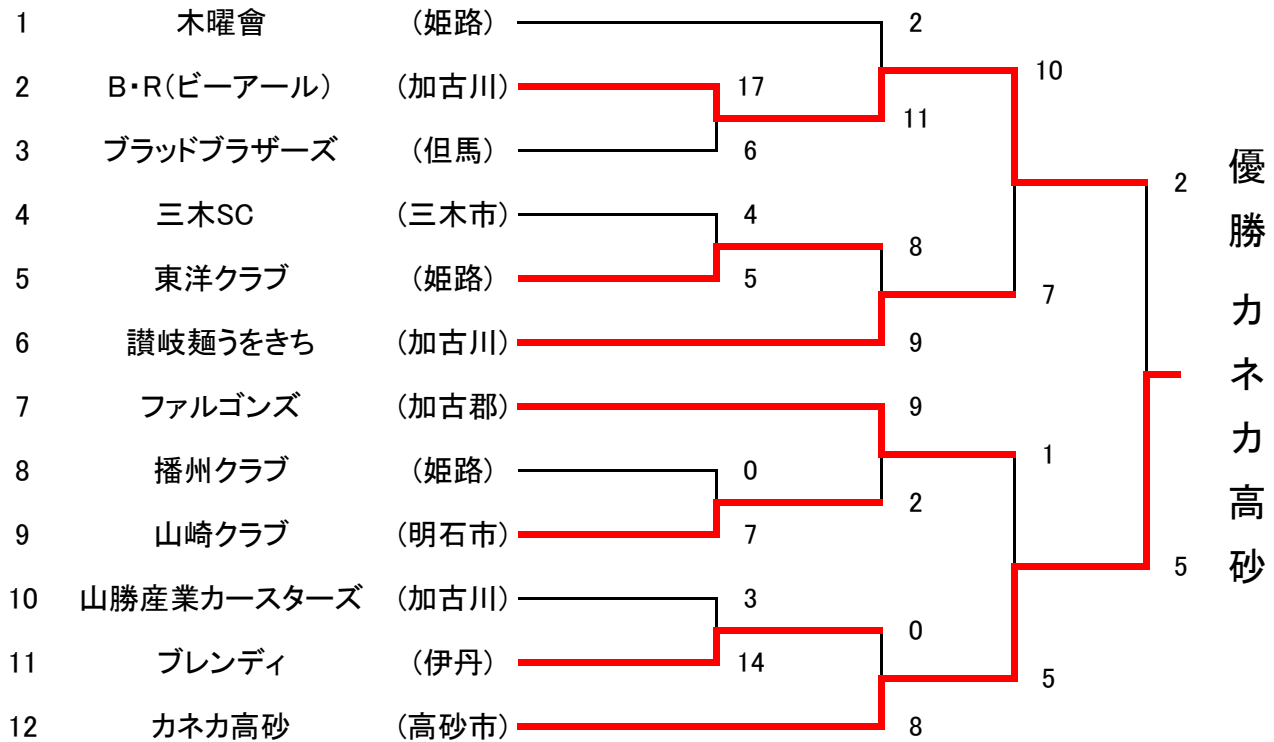


第3回 加古川市長旗争奪OPENソフトボール大会

平成28年12月4日・11日

加古川両荘河川敷グラウンド

優勝 カネカ高砂
 準優勝 B・R(ビーアール)
 三位 讃岐麺うをきち
 三位 ファルゴンズ



1回戦	B・R(ビーアール)	3	3	4	7		4回コールド	17	神子島ー三木
	ブラッドブラザーズ	1	1	0	4			6	高橋ー太田垣
1回戦	東洋クラブ	0	0	2	0	3	時間切れ	5	柴田ー高田
	三木SC	2	0	2	0	0		4	木村ー臼井
1回戦	播州クラブ						棄権	0	
	山崎クラブ							7	
1回戦	山勝産業カースターズ	3	0	0	0		4回コールド	3	藤原光ー由井
	ブレンディ	7	1	6	×			14	徳永ー佐々木
2回戦	木曜會	1	0	1	0		4回コールド	2	辰巳ー川渕
	B・R(ビーアール)	5	0	1	5			11	神子島ー三木
2回戦	讃岐麺うをきち	0	4	3	2		時間切れ	9	佐田ー大山
	東洋クラブ	2	1	1	4			8	柴田・川島ー高田
2回戦	ファルゴンズ	3	0	2	4		時間切れ	9	橋本ー藤田
	山崎クラブ	1	0	1	0			2	植木ー奥田
2回戦	カネカ高砂	1	0	5	2		時間切れ	8	谷口ー川崎
	ブレンディ	0	0	0	0			0	徳永ー佐々木

第3回 加古川市長旗争奪OPENソフトボール大会

(準決勝)① 試合時間1時間25分 試合日28年12月11日 試合番号 9

審判員(球審) 高橋和義 (1塁) 辻川芳正 (2塁) 小山田健二 (3塁) 路次 隆
 (副審) 藤原道行 (記録) 坂尻末吉 (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
讃岐麺 うをきち	2	0	1	4											7
B・R(ビーアール)	3	3	4	×											10

先 投手 棟安晋也 捕手 小坂和之 本塁打 小田垣陽介②	後 投手 神子島 健 捕手 三木希介 本塁打 三木希介・神子島 健
攻 三塁打 二塁打	攻 三塁打 二塁打 堀池智哉

(準決勝)② 試合時間1時間26分 試合日28年12月11日 試合番号 10

審判員(球審) 中本弥寿彦 (1塁) 松山信司 (2塁) 金井三良 (3塁) 石井栄二
 (副審) 田野和男 (記録) 塚越正則 (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
ファルゴンズ	0	0	0	0	1										1
カネカ高砂	1	3	0	1	×										5

先 投手 嶋 正幸・橋本邦夫 捕手 間島宏明 本塁打	後 投手 谷口誠也 捕手 尾関克也 本塁打
攻 三塁打 二塁打	攻 三塁打 二塁打

(決勝) 試合時間1時間47分 試合日28年12月11日 試合番号 11

審判員(球審) 桜井昭夫 (1塁) 福田輝昭 (2塁) 岡村昌夫 (3塁) 中尾文明
 (副審) 藤本勝芳 (記録) 坂尻末吉 (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
カネカ高砂	0	0	0	0	1	4									5
B・R(ビーアール)	0	0	1	0	0	1									2

先 投手 谷口誠也 捕手 尾関克也 本塁打 大川和哉	後 投手 神子島 健 捕手 三木希介 本塁打
攻 三塁打 二塁打 梅原哲也	攻 三塁打 二塁打

第3回 加古川市長旗争奪OPENソフトボール大会

試合日	2016年12月11日	第二日目	決勝	球場名	加古川両荘河川敷グラウンド	第3試合		
試合開始10時51分		試合終了12時47分		試合時間1時間56分			中断時間時分	
(球審)	桜井昭夫	(一塁)	福田輝昭	(二塁)	岡村昌夫	(三塁)	中尾文明	
(副審)	藤本勝芳	記録員	坂尻末吉	記録補助		放送員		

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
カネカ高砂	0	0	0	1	0	4		タイブレーカー							5
B・R(ビーアール)	0	0	1	0	0	1									2

チーム名	投 手	捕 手
カネカ高砂	谷口誠也	尾関克也
B・R(ビーアール)	神子島 健	三木希介

勝利・敗戦投手	チーム名	打数	安打	犠打	四球	死球	三振	盗塁	失策	
勝	谷口誠也	カネカ高砂	24	5	0	0	0	3	0	1
負	神子島 健	B・R(ビーアール)	25	5	0	1	0	9	1	1

チーム名	長打(本塁打・三塁打・二塁打)
カネカ高砂	(本塁打)大川和哉(二塁打)梅原哲也
B・R(ビーアール)	

(戦評) カネカ高砂初優勝

試合が動いたのは3回の裏B・Rはヒット3本を集中させ四球押し出しで1点を先行した。カネカ高砂も5回の表梅原選手の二塁打と尾関選手のタイムリーで1点を挙げ追いつき試合を振り出しの戻した。試合は同点のままタイブレーカーに入りカネカは6回の表相手守備人の乱れと四球で無死満塁とし3番大川選手の右中間オーバーの満塁本塁打で勝負を決めた。BRもその裏1点を返したが反撃するには至らなかった打線もカネカ谷口投手の投球に的が絞れず三振9個と残塁6とあと1本出なかった。カネカ高砂が3回目の出場で初優勝を飾った。